

2016年（平成28年）4年目 河川清掃のお手伝いをしました

川の恩恵に感謝し、ごみを拾い集めました

— ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる。 —

主催：最上漁業協同組合 & ボランティア：大和工営株式会社

去る6月12日（日）、恒例になりました最上漁業協同組合主催の河川清掃に、私達の大和工営株式会社が今年もお手伝いをさせていただきました。漁協の方の挨拶で、5月29日から4日間で1230kgの稚アユを放流したことの報告があり「きれいな川にしか棲めないアユの環境を守っていき」と挨拶がありました。また、私達も「鮭川流量調査業務」を通じて川にはお世話になっている立場であり、川の恩恵に感謝しつつ、川の中のゴミを中心に拾い集めました。

4年目、今年もやりました・・・



ドロ～ンからも、集合写真です・・・

清掃隊？が集結・・・

清掃作業は、朝6時から7時までの1時間の作業を予定していたので、5時45分まで現地に集合した。ほとんどの社員は車で駆けつけたが、遠く泉田から12kmの道程を自転車で来た社員が1人だけいた。

また、川の中のゴミ拾いがメインなので、胴付き長靴、ライフジャケット等の装備も整えた。

更に川に入る通路の草刈を行うため草刈機5台を準備し、作業に備えた。



ほとんど車で駆けつけた中で・・・



自宅から12kmの道を自転車で来たア!?・・・



5台の草刈機でガンバります・・・

ひとつ拾えばひとつきれいに・・・

漁協の組合長から「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」と挨拶の中にあっだが、通常の河川清掃ではやらない「川の中に入ってのゴミ拾いをメインに行った。まさにアユの棲息する川の中の「環境整備」を行うこととなった。

真室川町長の井上薫さんも漁協の一組合員として私達と一緒に作業をしていていた。

作業場所は真室川の「新橋」の上下流を中心にして、「平岡橋」方には一班の配置をした。



漁協の組合長さんから、朝のごあいさつ・・・



後藤社長からも、事故のないように・・・と



ヤブをかき分け、漁協の方々と川に向かい・・・

川の中に入り、ゴミを拾う・・・

河川清掃のお手伝いも4年目となると、ゴミの貯まりやすい所などがわかるようになってくる。

胴付き長靴を身にまとい、川の中に入りゴミを探す。この日は川の水量も少なく、水も澄んでいたため探し易かった。ゴミの種別は空き缶を始め発泡スチロール、携帯コンロのガス缶、ビニールなど生活廃棄物が多い。中には鉄製パイプ管やタイヤなども捨てられていた。少し環境に配慮してもらえればここには無い筈のゴミである。



川の中に入り込んでいき・・・



幸いに川の水は少なく・・・



川底のゴミを探しながらすすむ・・・



こんなとこまで入り込んで探していました・・・



なんで、こんな鉄管が川の中にあるんだ!!



新橋の橋の上流も・・・



下流も、橋の傍はゴミが目立つ・・・

草刈部隊も、フル稼働です・・・



ヤブの中を先鋒が刈り払いして行き・・・



後続も刈り払い、川への広い通路ができる・・・



堤防の草も「フルスイング」で刈り込む・・・



1時間の作業、無事終了しました・・・

軽トラの荷台が、ゴミの山に・・・

約1時間ほどの作業でしたが、1人1人が拾い集めたゴミを持ち寄ると結構な量になる。漁協の方が用意した軽トラックの荷台が、たちまち山盛りのゴミであふれた。

集めたゴミの山を前に4回目の集合写真を撮った。また新たに装備した「ドローン」で現場の状況写真を撮影した。漁協の方々にお世話になりながらの小さな私達の取組ですが、「継続は力なり」をモットーに今後も続けていきたいと思えます。



1時間で集めたゴミ、ちりも積もれば・・・



軽トラックに、山盛りになりました・・・
漁協の皆さんお世話になりました・・・



冷たいジュースで喉を潤す・・・
今年も無事に終了しました

ドローンによる現場空撮・・・

